


株式会社和田工業

業種	製造業	事業所所在地	愛知県豊明市	資本金	5,000千円
				従業員数	22名

		被承継者 (左)	
		和田 守	67歳 ※承継時
		承継者 (右)	
		和田 敦	36歳 ※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2016年8月		子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
金属パイプの切断・面取り加工		・既存商品・サービスの利益の拡大（売上原価や販管費の改善） 被承継者は現場主幹の技術畑の人間であったため、技術力はピカイチであったが、経理、原価管理が不足しており改善の必要があった。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
2010年に自営業である株式会社和田工業に承継者が入社しました。業務に携わる過程で被承継者である父が創業した工場は、より発展できると確信しました。承継者が一刻も早く会社の管理面、営業面を経営者として携わりたいと感じたため事業承継を行いました。	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	創業当時から被承継者が契約していた税理士と承継者の考え方に乖離が生じたことで、結果として契約を解除することになった。	被承継者と、現場の古株社員がうまくやれているか不安でした。被承継者のやり方に反発する社員がいるのではないかと心配していましたが今はうまく回っています。




これに一番苦労した！

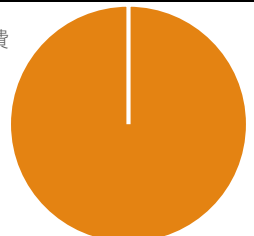
とにかく現場肌な被承継者と、会社経営に特化した承継者は度々意見が食い違いました。特に、現場社員は2人が異なる内容を口出しするため非常に困惑していました。長年働いていた古株社員は、従来のやり方と異なる指示に負担を感じている者もいました。会社のトップが2人いるような状態では進む道が不透明であり従業員がついてこれません。被承継者と承継者で話し合い、「ここからは承継者のやりかたでやる！」と決まってしまうことで企業の進むべき道が明確となり、徐々に従業員も承継者の新しいスタイルに順応してくれました。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
コンサルティング会社	・社会保険労務士：従業員の給与体系など、待遇を一から見直すこととしたため、様々なアドバイスを頂いた。同規模の同業他社の事例を詳しく聞いたことが安心感につながりました。
いつから相談？	
承継実行の 2年前	・税理士：会社の利益体質を一から見直す過程で、財務のアドバイスを頂けたことが助かりました。
相談のきっかけ	
その他	・経営コンサルタント：業界の今後のビジョンについて、5年後、10年後の当社の「あるべき姿」を共に相談できたことで、自社の進むべき道とやるべきことが明確にできました。また、現場の幹部社員へコンサルタントが直接アドバイスをしてくれたことも社員の良い刺激となりました。

経営革新等に係る取組の標題

既存設備のフル稼働と生産性向上を実現する防音壁の設置計画

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
<p>●当社は、主に自動車部品として使われる金属パイプの切断・面取り加工を行っている。業界では、部品の共通化による大量ロットの一括発注が進んでいるため、月次生産数が多いものや特急の生産依頼が発生すると、早朝、深夜帯の生産を余儀なくされることがある。しかし、当社は民家が隣接する準工業地帯に位置しているため、生産が早朝、深夜にわたると工場の騒音が周辺に響き渡り、いつクレームが発生してもおかしくない状況であった。</p> <p>●そこで、普段は生産の関係で開放している工場の鉄製シャッター（写真：左）に防音機能を搭載した自動高速開閉シャッター（写真：中央）を設置し、常時工場の騒音を遮断する取り組みを行った。</p> <p>●その結果、騒音を60デシベル（やかましい）からおよそ45デシベル（写真：右）の「静か」に位置する段階まで低減させることができ、客先の要望に応えることが安心してできるようになった。</p>	
	
	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体と協力し、青少年育成事業や、まちづくり活動を実施した ・当社が掲げる「世界最速のパイプ切断と加工」を当社壁面に大きく掲げ、有効性をPRしている 	<p>● 設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費（防音機能を搭載した自動開閉シャッター設置工事費）</p>

認定経営革新等支援機関の名称： 翔陽税理士法人			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
作成した骨子のブラッシュアップを支援してくれたことが助かりました。			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	インフラの増強、更なる設備投資、人員の確保を推進する、そして地域の雇用や業界のモデルとして業界全体の発展により多く寄与する。
売上高 20 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
承継者のやり方に最初は不安もありましたが、次の世代を信じて、バトンタッチすることが大切です。	承継時にぶつかった課題はなおざりにするのではなく、真摯に受け止め乗り越えることで、従業員の方も必ず自分についてきてくれるようになります。